



大口高校だより

鹿児島県立
大口高等学校

〒895-2511 伊佐市大口里2670

TEL 0995-22-1441 FAX 0995-22-9227

新年のご挨拶

謹んで新年のお慶びを申し上げます。令和8年も穏やかで幸せな年となりますよう、心より祈念申し上げます。

さて、昨年は3年生の堀ノ内咲良さんがベトナムへ、2年生の林優希君が台湾へ研修に行き、現地の高校生等と交流を深めてきました。帰国後、全校生徒を対象に報告会を開きましたが、わずか1週間の経験で見違えるほど成長したことが見て取れました。堀ノ内さんはこの経験を活かして、その後、難関大学に合格しました。おめでとうございます。

ところで、中学3年生にとつては、受験勉強の追い込みの時期だと思います。地元の高校か市外の高校か最後まで迷っているという生徒の話も聞きます。高校にはそれぞれの特徴があります。大口高校の場合、通学にかかる時間が少ない分、勉強と部活動との両立や地域のボランティアに参加しやすいといったメリットがあります。例えば、3年間文武両道を成し遂げ、先日みごと推薦入試で鹿児島大学に合格したサッカーチームの生徒もいます。次に、小規模校ならではの落ち着いた雰囲気の中で、きめ細かい指導が受けられるということです。現在、大学入試共通テストを受験する3年生が一生懸命頑張っています。放課後課外が終わってからも更に個別指導を受けています。在校生の保護者の皆様からは、無料のスクールバスの利用や学食の存在も大きな魅力だと聞きます。

大口高校の特徴は楽しい学校と言われます。しかし、進学も就職もきちんと結果を出している高校です。それゆえ地域に信頼されています。生徒・職員一同、皆さんの入学を楽しみにしています。



校長 吉満 庄司

「台湾研修」報告会

県教育委員会が主催する「台湾への派遣事業」に参加した2年生の林優希君が、終業式の前に報告会を行いました。台湾の高校生と交流した感想や、歴史・文化・産業について学んだことなど、写真やスライドを用いて話してくれました。



「英語は実際に使うことで伸びると実感した。日を追うごとに積極的にコミュニケーションが取れるようになって楽しかった。」と、貴重な学びを得られた1週間を振り返っていました。初めて聞く外国の様子に、みな興味津々で報告が終わると次々と質問が飛び出しました。

クラスマッチ

12月23日にクラスマッチを開催しました。1学期に引き続きバレーボールでの対戦で、前回のリベンジを果たそうと練習に打ち込んできた生徒も多かったです。



どのクラスも声を掛け合い、ミスをしたときには明るく励まし、ナイスプレーには拍手を送っていました。自分たちの試合が終わつた後も、男女問わずクラスメートを応援する姿に、大口高校生の絆の強さが感じられました。

熱戦の末、男子は3年1組Bチーム、女子は2年1組が優勝を収めました。

「職」の魅力プロジェクト

12月16日、2年生を対象に「かごしま“職”の魅力発見プロジェクト」による講演を行いました。株式会社アイリー代表取締役の川田満さん（本校野球部OB）をお招きし、講演をお願いしました。

起業するまでの過程や仕事内容、仕事のやりがいについて「感謝の気持ち」「今を生きる」といったキーワードから、高校生に大切にしてほしいことを熱く語っていただきました。

生徒たちは、自分の将来をイメージしながら、真剣に聴き入っていました。



クリスマスコンサート

12月23日、クラスマッチの昼休みに、音楽部によるコンサートが中庭で開催され、多くの生徒が軽快な音楽を楽しみました。



部活動を引退した3年生を含む音楽部3名が、職員2名とともに、「ライラック」「恋人たちのクリスマス」の2曲を演奏しました。力強く、かつ心のこもった演奏に、会場はあたたかい空気に包まれました。

2年生の東佐羽さんは「本番までの練習時間が短く不安なこともあったが、先輩方や先生方と大切な思い出が作れた。」と、達成感に満ちた表情で話していました。

2学期表彰

※2学期終業式で表彰をした生徒のうち、紙面の都合上、上位のみを掲載しています。

- 実用英語技能検定 準1級合格 園田ひなた（3年） 2級合格 鹿島凜咲（1年）
- 第15回黄金の俳句コンクール 教育委員会賞 鹿島凜咲（1年） 市長賞 池ノ上奈穂（3年）
- 第17回伊佐市社会福祉大会福祉作文コンクール 優秀賞 川越美月（1年）
- 第68回鹿児島県児童生徒作文コンクール 特選 長野翔瑛（1年）
- 第38回海音寺潮五郎記念読書感想文コンクール 入選 宮田暁士（3年）
- 第36回鹿児島県高等学校揮毫大会 翰墨銀賞 武海璃（3年）
- 第55回鹿児島県高等学校書道展 秀作賞 武海璃（3年）
- 始良・伊佐地区高等学校体育大会バドミントン競技 女子団体 第3位 1年女子ダブルス 第3位 今堀陽葵・今村藍那
- 始良・伊佐地区高等学校体育大会サッカー競技 第3位
- ☆ ボランティア活動認定証 上園真由（3年） 西元小町（2年）

「鬼武藏～TADAMOTO忠元」

12月27日・28日、伊佐市文化会館で、現代版組踊「鬼武藏～TADAMOTO忠元」が上演されました。

本校からは、篤姫役に吉永実央さん、西郷隆盛役に有木琉生君、豊臣秀吉役に一ノ宮禪君、島津日新斎役に山下創人君、そして中渡南翔君率いるサッカーチーム、さらに池ノ上奈穂さんと山崎秉来さんが華やかな踊りで花を添えました。

今年は新納忠元生誕500周年で様々な関連イベントが計画されています。そのラストを飾るのが年末のちむどん公演です。今から楽しみです。



鬼武藏公演実行委員会

伊佐にヒカリプロジェクト

12月13日、菱刈まごし館で「伊佐にヒカリプロジェクト」の点灯式がありました。

多くの来場者が集い、LED電球を組み合わせたイルミネーションが輝くと歓声が起きました。実行委員には大口高校からも4人が立候補し、子ども広場の企画や運営を行いました。

他にも、本校生も所属するダンスクラブによるダンス、書道部によるパフォーマンスなどで会場を盛り上げました。実行委員を務めた2年生の米澤優空さんは、「数ヶ月前から活動してきたので、成功してほっとした。たくさん来場してくれて嬉しかった。」と話していました。点灯は2月28日までです。



「井戸端まるしぇ」出店

12月20日、「グループホーム友楽」の敷地内で開催された「井戸端まるしぇ」に、1年生の鹿島凜咲さんと古田朱莉さんが出店しました。

2人が朝から100本以上泥を落として販売した金山ねぎは、30分で完売、「大口高校米クッキー」も2時間で売り切れるなど大盛況でした。当日は他の出店者やお客さんとの会話も楽しみ、積極的にコミュニケーションを取っていました。

2人は「地元の方々が優しく、とても楽しかった。これからもいろいろなボランティアに参加していきたい。」と嬉しそうに話していました。



「大口高校ふるさと歴史講座」

「大口高校ふるさと歴史講座」第5弾は、渡航160周年を迎えた薩摩藩英国留学生をテーマに6回シリーズで開催しました。講師は、吉満庄司校長をはじめ、鹿児島日英協会の島津公保会長や狩所貴久事務局長（本校OB）、鹿児島国際大学の森孝晴特任教授、鹿児島大学の伴野文亮特任准教授、志學館大学の酒瀬川純行名誉教授といった鉢々たる研究者を揃えました。さらに、本校ALTのジョシュアにも、イギリスの映画文化の話をしてもらいました。

最終日には、知覧の薩摩英國館の田中京子前館長が、美味しい紅茶の入れ方をレクチャーし、自家農園で有機栽培した「夢ふうき」を皆さんに振る舞ってくださいました。参加者全員、優雅で贅沢な雰囲気の中で講座の終了を迎えるました。



伊佐市三十歳のつどい

1月3日、伊佐市文化会館で「令和8年伊佐市二十歳の集い」が開催されました。会の終盤、実行委員会企画で、頑張っている二十歳の代表にインタビューするコーナーがあり、本校ソフトテニス部キャプテンで生徒会長も務めた今吉菜緒さんが登壇しました。

今吉さんは、現在、熊本大学理学部で自然災害などを世界的な規模で研究しており、将来は、気象に関する仕事に就きたいという確固たる目標を持っていることを述べました。

会場には当時の担任だった原先生も駆けつけ、卒業生の皆さん成長ぶりに目を細めながら一緒に記念写真を撮っていました。

